

## 令和3年度 美浜区区民対話会 議事要旨

1 日時 令和4年3月1日（火）16:00～17:15

2 場所 美浜区役所3階 3-2・3会議室

3 出席者 区民参加者 14名  
行政 3名

4 議題 地域課題をふまえたフレイル予防

### 5 議事内容

(1) 開会

(2) 挨拶

(3) 資料説明

あんしんケアセンターより各地域の現状・課題について別紙資料のとおり説明

(4) 意見交換

#### 【各地区の意見】

○A氏

- ・町内自治会の数が多く把握しきれないことがあるため、身近にあんしんケアセンターに相談できる環境があることは非常に助かっている。
- ・専門職員の増員や相談窓口の新規設置をすることで、あんしんケアセンターの負担軽減や、地域住民の相談のしやすさにつながるのでは。

○B氏

- ・100歳体操について、現在はコロナの関係で休止しているが、磯辺地域ルームをはじめ各町内自治会の集会所で相当な回数を実施されてきた。この広がりをつくったのはあんしんケアセンター磯辺が多方面に働きかけてくれたおかげであり、良い展開であったと思う。
- ・支え合い活動委員会を立ち上げ、会議にあんしんケアセンターや社会福祉協議会、民生委員などに参加していただき、地域の状況を確認している。
- ・自治会長があんしんケアセンターの存在や役割について認識していないことが多々ある。自治会長はより理解する必要があると考えているため、磯辺の会長会議であんしんケアセンターのパンフレットを配付し、事務所の場所が移転する話も含めて自分から説明をした。各自治会の地域住民にも周知を徹底するように促した。

- ・あんしんケアセンターに相談があった際、どこに繋げるかという選択肢に、地域の自治会、社会福祉協議会、民生委員があるはずなので、迅速に対応ができるよう今後はますます連携体制をつくることに力を入れていきたい。

#### ○C氏

- ・あんしんケアセンターには、サロン活動や地区内の移動、高齢者の活動促進などの取り組みについて積極的にご協力をいただいている。
- ・ここ2年ほどは、コロナの影響で様々な活動ができずにいる。今後の活動についてはwithコロナということで、違うやり方も考えなければならない。
- ・活動の参加者が高齢者に偏っており、若い世代との溝ができてしまっていることを街全体の課題として捉えている。そのため、活動場所として公民館だけでなく、小中学校を利用することで、高齢者と小中学生などとの交流を促進し、地域の活性化につながるのではないかと考えている。
- ・幕張新都心のあんしんケアセンターの管轄が分断されていることについて、必然的に情報のパスが多くなり負担が大きいのと思われるので、その点についても今後考えていくべきである。

#### ○D氏

- ・最近では稲浜ショップの商店街のスーパーが閉鎖となったことにより、遠方まで買い物に行けない高齢者が困っている。対応策として移動販売などの運用について商店街と自治会で話し合いを進めている。
- ・独居の方も増えており、その方の状況把握がなかなか難しいこともあるので、今後もあんしんケアセンターと協力して情報の発信や地域状況の把握に努めていきたい。

#### ○E氏

- ・幕張西、浜田地区については端の地区になるため、やはり移動が大変。今後はあんしんケアセンター磯辺の浜田出張所が新設されるとのことで、移動問題については多少変わってくるのでは。
- ・活動できる場所が基本的に公民館しかないことが難しい問題である。
- ・あんしんケアセンターの存在については自治会長全員に浸透しておらず、毎年会長が交代することや、個々の関心の度合いによって認識が異なる。今後は各自治会長と連携をとるとともに、会長会などにあんしんケアセンターにも参加していただきたく考えている。

#### ○F氏

- ・稲毛海岸5丁目では、新しいマンションが建ったことにより住民の年齢層が下がり、子どもも増えてきている。
- ・4丁目の戸建て住宅密集地ではほとんどが高齢者で、独居の方も多い。外に出るような活動や見回り活動を色々実施しているが、男性はほとんど参加されず、特に独居の方の状況把握が難しい。あんしんケアセンターの利用を促進しても、事務所まで行くのが困難な方が多いので、自分が訪問した際にあんしんケアセンタ

ーの利用について話をしたり、健康状態の把握について努めている。

- ・自治会役員についても高齢化しており、他の地区ではどのように対応や対策をしているのか、今後伺ってみたい。

○D氏

- ・コロナにより自治会からの声掛け活動が難しく、住民の困りごとに気づけないことが多い。住民と会う機会ができた際には積極的にあんしんケアセンターを紹介するなど、情報の提供、発信を引き続きしていきたい。

○G氏

- ・地域団体、医療機関、企業を含めた連携会議が定期的に行われており、課題や対応策を出し合って情報共有している。
- ・あんしんケアセンターの働きかけにより、特別養護老人ホームのなかでカフェをスタートすることができた。
- ・公団住宅に生活支援アドバイザーをおいていただいたことにより、住民が気軽に相談できたり、あんしんケアセンターにつないでもらったりと非常に助かっている。

【その他意見】

○G氏

- ・あんしんケアセンターについて、職員の増員もしくは事務所の増設などを充実させる必要があるのでは。圏域によっては対象地区が大変広く、あんしんケアセンターの負担が大きいと思われるので、検討してほしい。

○B氏

- ・高齢化が進むにつれ、相談件数が増えていく。それに対応するためには、圏域を細分化して事務所を増やしたり、増員などをしなければならない。そして現在の美浜区はそうすべき環境にある。
- ・あんしんケアセンターからみて、自治会や社会福祉協議会、民生児童委員の協力が必要なことがあれば、遠慮なく言ってほしいし、我々もそのように望んでいる。それにより、普段の地域との連携に繋がると思う。

(5) 閉会